

かんたん 波形編集

画面・各部の説明
Q & A

※シリアルナンバーは、同梱されている用紙に記載されています。

ユーザー登録はこちら
<http://www.de-net.com/user>

製品ご利用前に必ずお読みください。
この取り扱い説明書は大切に保管してください。

目次

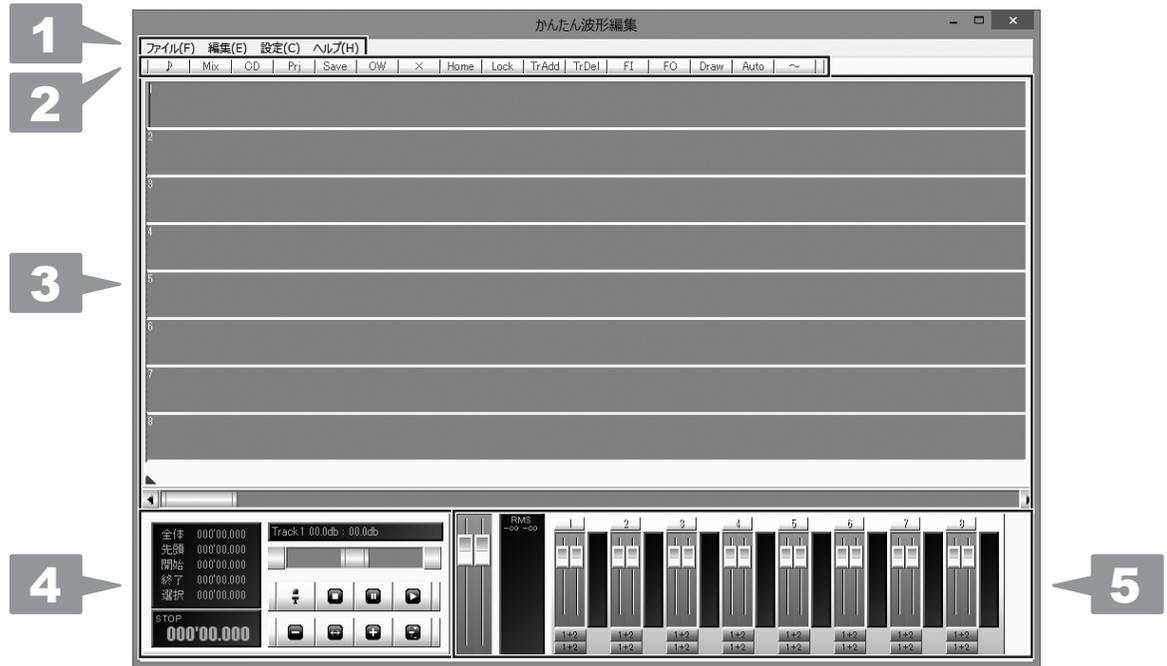
画面・各部の説明

メイン画面	02～13
WAVファイル作成画面	14～15
CDオーディオ画面	16～17
エフェクト画面	18
フェードを描く画面	19
波形編集画面	20～21
録音設定画面	22
設定画面	23～26
音楽変換ツール メイン画面	27～28
Q & A	29～34
ユーザーサポート	35

画面・各部の説明

メイン画面

本ソフトを起動(冊子の取扱説明書8～9ページを参照)すると、下のようなメイン画面が表示されます。



1 メニューバー (3～8ページ)

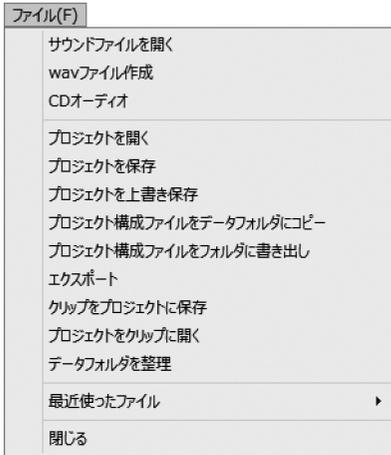
2 ツールバー (9～10ページ)

3 作業エリア (11ページ)

4 操作パネル (12～13ページ)

5 ボリュームパネル (13ページ)

1 メニューバー



ファイルメニュー

サウンドファイルを開く

パソコンに保存された音楽（音声）ファイルを開いて作業エリア内のトラックに読み込みます。

wavファイル作成

編集した音楽（音声）をWAVファイルとして保存します。

CDオーディオ

CDから音楽（音声）ファイルを開いて作業エリア内のトラックに読み込みます。

プロジェクトを開く

プロジェクトファイルとして保存された音楽（音声）の編集データを開きます。

プロジェクトを保存

音楽（音声）の編集データをプロジェクトファイルとして保存します。

プロジェクトを上書き保存

プロジェクトファイルに保存された音楽（音声）の編集データを現在の内容で上書き保存します。

プロジェクト構成ファイルをデータフォルダにコピー

データフォルダ以外の場所から開いた音楽（音声）ファイルやプロジェクトフォルダから開いたデータをデータフォルダにコピーします。

プロジェクト構成ファイルをフォルダに書き出し

プロジェクトに必要な全てのファイルを1つのフォルダ内に書き出します。

バックアップを作成するときなどに使用します。

エクスポート

各トラックを単一のWAVファイルとして保存します。

クリップをプロジェクトに保存

コピーされている内容（クリップ）をプロジェクトファイルとして保存します。

プロジェクトをクリップに開く

プロジェクトファイルをクリップ上に展開します。

この操作の後で貼り付けを行うと、開いたプロジェクトファイルを追加で貼り付けることができます。

データフォルダを整理

データフォルダに含まれるファイルの中からプロジェクトファイルに使用していないファイルを削除します。本ソフトで使用しないファイルは削除しません。

最近使ったファイル

使用したファイルをメニュー表示します。

閉じる

現在開いている編集データを閉じます。

編集(E)	
再生	▶
マーク/ヘッド移動	▶
消去	Ctrl+D
削除	Del
切り取り	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
貼り付け	Ctrl+V
挿入	Ctrl+B
空白挿入	Ctrl+T
トリム	Ctrl+G
全範囲選択	Ctrl+A
元に戻す	Ctrl+Z
やり直し	Ctrl+S
ブロック	▶
トラック	▶
フェード	▶
エフェクト	▶
ステレオエフェクト	▶
波形編集	

編集メニュー

再生**範囲内再生**

選択範囲を再生して停止します。

範囲外再生

選択範囲の前後を連続再生して停止します。

ループ再生

選択範囲内を繰り返し再生します。

マークインまで再生

マークインの前からマークインまで再生します。
初期設定では2秒間再生します。

マークアウトまで再生

マークアウトまで2秒間再生します。

マークインから再生

マークインから再生します。

マークアウトから再生

マークアウトから再生します。

マーク/ヘッド移動**マークインをクリック位置に**

クリックした位置にマークイン（選択範囲の始点）を移動します。

マークインをヘッドに

再生ヘッドの位置にマークインを移動します。

マークインをブロック開始位置に

選択ブロックの開始位置にマークインを移動します。

マークインをブロック終了位置に

選択ブロックの終了位置にマークインを移動します。

マークインを先頭に

一番先頭にマークインを移動します。

マークイン位置指定

時間を入力してマークインを移動します。

マークアウトをクリック位置に

クリックした位置にマークアウト（選択範囲の終点）を設定します。

マークアウトをヘッドに

再生ヘッドの位置にマークアウトを移動します。

マークアウトをブロック位置に

選択ブロックの開始位置にマークアウトを移動します。

マークアウトをブロック終了位置に

選択ブロックの終了位置にマークアウトを移動します。

マークアウトを先頭に

一番先頭にマークアウトを移動します。

編集(E)	
再生	▶
マーク/ヘッド移動	▶
消去	Ctrl+D
削除	Del
切り取り	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
貼り付け	Ctrl+V
挿入	Ctrl+B
空白挿入	Ctrl+T
トリム	Ctrl+G
全範囲選択	Ctrl+A
元に戻す	Ctrl+Z
やり直し	Ctrl+S
ブロック	▶
トラック	▶
フェード	▶
エフェクト	▶
ステレオエフェクト	▶
波形編集	

編集メニュー

マークアウト位置指定

マークインからの時間を入力してマークアウトを移動します。

ヘッドをマークイン位置に

マークインの位置に再生ヘッドを移動します。

ヘッドをマークアウト位置に

マークアウトの位置に再生ヘッドを移動します。

ヘッドをブロック開始位置に

選択ブロックの開始位置に再生ヘッドを移動します。

ヘッドをブロック終了位置に

選択ブロックの開始位置に再生ヘッドを移動します。

ヘッドを先頭に

一番先頭に再生ヘッドを移動します。

ヘッドを次のブロックに

次のブロックの先頭に再生ヘッドを移動します。

ヘッドを前のブロックに

前のブロックの先頭に再生ヘッドを移動します。

消去

選択されている部分の音楽（音声）とフェードを消去します。選択していた部分は詰められません。

削除

選択されている部分の音楽（音声）とフェードを削除します。選択されていた部分は詰められます。

切り取り

選択されている部分の音楽（音声）とフェードをクリップにコピーしてから削除します。

選択していた部分は詰められます。

コピー

選択されている部分の音楽（音声）とフェードをクリップにコピーします。

複数のトラックをコピーすることができます。

貼り付け

コピーされていたデータをマークイン位置から上書きします。

挿入

コピーされていたデータをマークイン位置に挿入します。

空白挿入

マークイン位置から指定した時間の空白を挿入します。

トリム

ブロック前後の無音を消去します。

無音レベルをdb単位で指定します。

画面・各部の説明

編集(E)	
再生	▶
マーク/ヘッド移動	▶
消去	Ctrl+D
削除	Del
切り取り	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
貼り付け	Ctrl+V
挿入	Ctrl+B
空白挿入	Ctrl+T
トリム	Ctrl+G
全範囲選択	Ctrl+A
元に戻す	Ctrl+Z
やり直し	Ctrl+S
ブロック	▶
トラック	▶
フェード	▶
エフェクト	▶
ステレオエフェクト	▶
波形編集	

編集メニュー

全範囲選択

全ての範囲を選択します。

元に戻す

前に行った処理を順番にさかのぼります。

やり直し

元に戻した処理を取り消します。

ブロック

ブロック削除

選択されているブロックを削除します

ブロック名称変更

各ブロックに名称をつけることができます。

初期設定では該当するWAVファイル名になります。

ブロック分割

選択範囲をブロックとして分割します。

WAVファイルは再生成されません。

ブロックをヘッドの位置で分割

ブロックをヘッドの位置で分割します

ブロックをクリップ

選択されているブロックをコピーします。

フェード情報はコピーされません。

ブロックをマージ

選択範囲を1つのWAVファイルとしてブロックにします。

フェードやトラック音量は反映されません。

ブロックをロック

ブロックが移動ないようにします。

移動以外の操作は可能です。

ロックされたブロックは波形が作業エリアの背景色になります。

もう一度実行するとロックが解除されます。

ブロックにフェードをロック

ブロックを移動したときにフェードも

一緒に移動するようにします。

前のブロックにつける

同じトラックの直前のブロックの終了位置に移動します。

前にブロックがない場合は先頭に移動します。

後ろのブロックにつける

同じトラックの直後のブロック開始位置に

選択ブロックの終了位置が来るように移動します。

後ろにブロックがない場合は最後尾へ移動します。

編集(E)	
再生	▶
マーク/ヘッド移動	▶
消去	Ctrl+D
削除	Del
切り取り	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
貼り付け	Ctrl+V
挿入	Ctrl+B
空白挿入	Ctrl+T
トリム	Ctrl+G
全範囲選択	Ctrl+A
元に戻す	Ctrl+Z
やり直し	Ctrl+S
ブロック	▶
トラック	▶
フェード	▶
エフェクト	▶
ステレオエフェクト	▶
波形編集	

編集メニュー

ブロックを前面に

同一トラック内でブロックが重なっている場合に選択したブロックを前面に表示します。

ブロックを背面に

同一トラック内でブロックが重なっている場合に選択したブロックを背面に表示します。

ブロック位置を指定

指定した時間にブロックの開始位置を移動します。

ブロックのレベル

ブロックごとに音量調整します。

波形の表示には反映されません。

グループ

ブロックをグループ化します。

同じグループのブロックは移動などの操作がまとめて行われます。

トラック**トラック名称変更**

各トラックに名称をつけることができます。

トラック削除

範囲選択バーのあるトラックを削除します。

トラック追加

範囲選択バーのあるトラックの下に新規トラックを追加します。

トラック状態を保存

トラック数、再生/録音選択、録音再生デバイス選択を保存します。

これらの情報は次回起動時に再現されます。

フェード**Lch / Rch**

フェードを行うチャンネルを選択します。
チェックが入っているチャンネルにフェードが行われます。

フェードイン

選択範囲内で直線のフェードインを行います。
フェード終了音量はマークアウトの直後の音量です。

フェードアウト

選択範囲内で直線のフェードアウトを行います。
フェード開始音量はマークアウトの直前の音量です。

フェードのリンク

選択範囲内をマークイン直前の音量と
マークアウト直後の音量で直線でつなぎます。

画面・各部の説明

編集(E)	
再生	▶
マーク/ヘッド移動	▶
消去	Ctrl+D
削除	Del
切り取り	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
貼り付け	Ctrl+V
挿入	Ctrl+B
空白挿入	Ctrl+T
トリム	Ctrl+G
全範囲選択	Ctrl+A
元に戻す	Ctrl+Z
やり直し	Ctrl+S
ブロック	▶
トラック	▶
フェード	▶
エフェクト	▶
ステレオエフェクト	▶
波形編集	

編集メニュー

フェードをクリア

選択範囲内のフェードを等倍にします。

フェードをミュート

選択範囲のフェードをゼロにします。

ポイント追加

マーカーのあるトラックの再生ヘッドの位置にポイントを追加します。

このポイントを上下にドラッグすることでフェードのカーブを描くことができます。

ポイントを選択範囲に追加

マークイン/マークアウトの位置にポイントを追加します。

ポイントをクリア

選択範囲内にあるポイントを削除します。

フェードを描く

フェードを描く画面を表示して、詳細なカーブを描くことができます。

詳細は19ページをご覧ください。

BGフェード

選択範囲の内側を指定した時間でフェードイン/フェードアウトします。

オートメーション

フェーダー画面を表示して

再生しながらフェードを書き込みます。

フェードのマージ

フェードの値を反映して選択範囲をブロックにします。

トラックやブロックの音量は反映されません。

エフェクト/ステレオエフェクト

選択範囲内、またはトラックに対してエフェクトをかけることができます。

詳細は18ページをご覧ください。

波形編集

波形編集画面を表示して波形編集を行います。

詳細は20～21ページをご覧ください。

設定(C)

設定メニュー

設定画面を表示します。各種設定を行います。

詳細は23～26ページをご覧ください。

ヘルプ(H)

情報

ヘルプメニュー

情報

「かんたん波形編集」のバージョン情報を表示します。

2

ツールバー

ツールバーは初期設定では表示されません。

ツールバーを表示するには設定画面からツールバー表示を設定します。詳細は26ページをご覧ください。



パソコンに保存された音楽（音声）ファイルを読み込んでトラックに貼り付けます。ファイルメニューの「サウンドファイルを開く」と同じ働きをします。



CDから音楽（音声）ファイルを読み込んでトラックに貼り付けます。ファイルメニューの「CDオーディオ」と同じ働きをします。



編集データをプロジェクトファイルとして保存します。ファイルメニューの「プロジェクトを保存」と同じ働きをします。



現在開いている編集データを閉じます。ファイルメニューの「閉じる」と同じ働きをします。



ブロックが移動ないようにします。移動以外の操作は可能です。ロックされたブロックは波形が作業エリアの背景色になります。もう一度実行するとロックが解除されます。編集メニューの「ブロックをロック」と同じ働きをします。



編集した音楽（音声）をWAVファイルとして保存します。ファイルメニューの「wavファイル作成」と同じ働きをします。



プロジェクトファイルとして保存された編集データを開きます。ファイルメニューの「プロジェクトを開く」と同じ働きをします。



プロジェクトファイルに保存された編集データを現在の内容で上書き保存します。ファイルメニューの「プロジェクトを上書き保存」と同じ働きをします。



再生ヘッドを先頭に戻します。編集メニューの「マーク/ヘッド移動」内の「ヘッドを先頭に」と同じ働きをします。



範囲選択バーのあるトラックの下に新規トラックを追加します。編集メニューの「トラック追加」と同じ働きをします。

画面・各部の説明

TrDel

範囲選択バーのあるトラックを削除します。
編集メニューの「トラック削除」と
同じ働きをします。

FO

選択範囲内で直線のフェードアウトを行います。
フェード開始音量はマークアウトの直前の音量です。
編集メニューの「フェードアウト」と
同じ働きをします。

Auto

フェーダー画面を表示して再生しながらフェードを
書き込みます。
編集メニューの「オートメーション」と
同じ働きをします。

FI

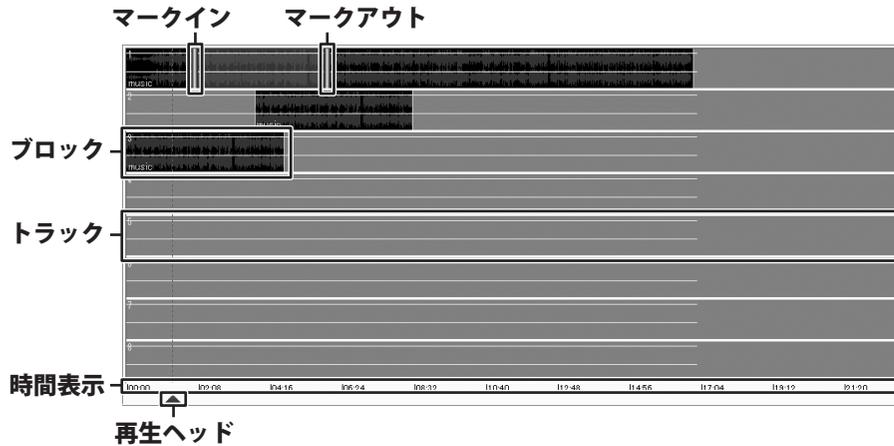
選択範囲内で直線のフェードインを行います。
フェード終了音量はマークアウトの直後の音量です。
編集メニューの「フェードイン」と
同じ働きをします。

Draw

フェードを描く画面を表示して詳細なカーブを
描くことができます。
編集メニューの「フェードを描く」と
同じ働きをします。

~

波形編集画面を表示して波形編集を行います。
編集メニューの「波形編集」と
同じ働きをします。



マークイン

ドラッグして選択範囲の始点を設定することができます。

ブロック

1つのブロックにつき、
1つの音楽（音声）ファイルが表示されます。

再生ヘッド

ドラッグして再生開始位置を設定することができます。

マークアウト

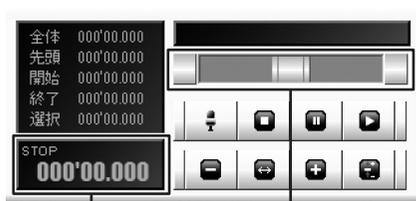
ドラッグして選択範囲の終点を設定することができます。

トラック

読み込んだ音楽（音声）の波形を表示します。
初期設定では8トラックです。

時間表示

音楽（音声）の時間を表示します。



再生カウンター ジョグ再生バー

全体

読み込んだ音楽（音声）の全体の時間が表示されます。クリックすると作業エリアに全体が表示されます。

先頭

クリックすると作業エリアの先頭の時間が表示されます。縮尺は変更されません。

開始

マークインのある位置の時間が表示されます。クリックするとマークインが作業エリアの中心に表示されます。縮尺は変更されません。

終了

マークアウトのある位置の時間が表示されます。クリックするとマークアウトが作業エリアの中心に表示されます。縮尺は変更されません。

選択

選択範囲の長さの時間を表示します。クリックすると作業エリアに選択範囲全体が表示されます。

再生カウンター

現在の再生状態と再生中の時間を表示します。クリックすると再生ヘッドが作業エリアの中心に表示されます。

ジョグ再生バー

つまみをドラッグすると再生するスピードを-3倍～+3倍の範囲で調整して選択範囲バーのあるトラックを再生します。



選択したトラックを録音する状態にします。

録音を開始するには、 ボタンをクリックします。録音するトラックを選択するには、ボリュームパネルの録音選択ボタンをクリックします。詳細は13ページをご覧ください。



再生を一時停止します。



再生を停止します。停止した状態でクリックすると、再生ヘッドが直前に再生を開始した位置まで戻ります。もう一度クリックすると再生ヘッドが先頭に戻ります。



選択したトラックの再生を開始します。再生するトラックを選択するには、ボリュームパネルの再生選択ボタンをクリックします。詳細は13ページをご覧ください。

画面・各部の説明



作業エリアに表示する波形の範囲を縮小します。



作業エリアに表示する波形の範囲を拡大します。

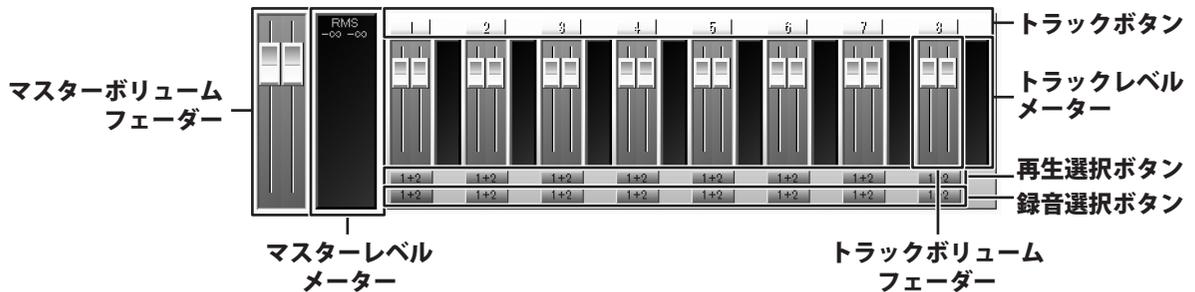


作業エリアに波形の全体が表示されます。



音量設定を行う画面を表示します。
初期設定ではパソコンの音量ミキサー画面が開きます。
(※お使いのパソコンによっては、画面の名称が異なる場合があります。)
開くアプリケーションは設定画面から選択できます。
詳細は23ページをご覧ください

5 ボリュームパネル



マスターボリュームフェーダー

つまみをドラッグして全体の音量を調整します。
つまみを右クリックすると、つまみが1つになり左右の音量を一緒に調整することができます。
元に戻すときはつまみを右クリックします。
ダブルクリックをすると、規定値に戻ります。

トラックボタン

トラックが作業エリア内に収まっていない場合、クリックすると、クリックしたトラックを作業エリアの中心に表示します。
右クリックすると、左右の音量を数値を入力して調整することができます。

トラックレベルメーター

各トラックの音量の推移を表示します。

録音選択ボタン

クリックして、録音するトラックを選択します。
ボタンが赤になっているトラックの音が録音されます。
選択できるトラックは1つです。

マスターレベルメーター

全体の音量の推移を表示します。

トラックボリュームフェーダー

つまみをドラッグして各トラックの音量を調整します。
つまみを右クリックすると、つまみが1つになり左右の音量を一緒に調整することができます。
元に戻すときはつまみを右クリックします。
ダブルクリックをすると、規定値に戻ります。

再生選択ボタン

クリックして、再生時に音を鳴らすトラックを選択します。
ボタンが緑になっているトラックの音が鳴ります。
複数のトラックを選択することができます。

WAVファイル作成画面

**ノーマライズ**

チェックを入れると、作成する音楽（音声）ファイルのピーク音量が入力欄に入力したレベル以上にならないように音量を自動的に調整します。

RMS

チェックを入れると、最大実効レベルが入力欄に入力したレベルになるように音量を調整します。

チェックが入っていない場合は、ファイル中のピークレベルが入力欄に入力したレベルになるように音量を調整します。

Source

WAVファイルで保存するトラックや範囲を設定します。

保存するトラック**全トラック**

編集データ中の全てのトラックを合成して保存します。

選択トラック

メイン画面内の作業エリア内で選択されたトラックを合成して保存します。

再生トラック

再生選択ボタンで設定されたトラックを合成して保存します。

保存する範囲**全範囲**

全ての範囲を保存します。

選択範囲

選択範囲のみ保存します。

ゼロ位置から

設定されているゼロ位置から後の範囲を保存します。

ループ

入力欄に数値を入力して、繰り返す回数を設定します。

前空白

入力欄に数値を入力して、WAVファイルの先頭に追加する無音部分の時間を設定します。

後空白

入力欄に数値を入力して、WAVファイルの最後に追加する無音部分の時間を設定します。

画面・各部の説明



Target

保存するファイルの形式や保存場所を設定します。

形式

▼をクリックして、ビットレート(音質)を設定します。

mp3

チェックを入れると、MP3ファイルとして保存します。

▼をクリックして、ビットレートを選択します。

ファイル

○をつけると、保存するファイルを

音楽(音声)ファイルとして保存します。

... ボタンから保存場所を設定することができます。

トラック

保存するファイルを指定したトラックに貼り付けます。

▼をクリックして、貼り付けるトラックを選択します。

CD作成

保存するファイルを

Windows標準の機能を使用してCDに書き込む準備

([CDに書き込む準備ができたファイル]に追加)をします。

CDに保存するファイルを書き込む場合は、

Windows標準のCDに書き込む機能を使用します。

SaveValues

現在の設定を保存します。

Cancel

保存せずにwavファイル画面を閉じます。

OK

設定した内容で保存します。

CDオーディオ画面

**ドライブ選択**

CDが入っているドライブを選択します。

CDトラック情報表示

読み込まれているCDのトラック情報をインターネットから取得して表示します。

Update

CDの情報をインターネットから取得して更新します。

波形表示

再生中の音楽（音声）を波形で表示します。

時間表示

再生中の音楽（音声）の時間を表示します。



再生中の音楽（音声）を停止します。



選択したトラックを再生します。

CDタイトル表示

読み込まれているCDのタイトルをインターネットから取得して表示します。

Get CD Info

チェックを入れると、インターネットからCDの情報を取得します。

レベルメーター

再生中の音楽（音声）の音量を表示します。

シークバー

再生位置を表示します。
ドラッグして再生開始位置を設定することができます。



再生中の音楽（音声）を一時停止します。

画面・各部の説明



音量を表示、調整します。
つまみをドラッグして、音量を調整します。

Cancel

リッピング（取り込み）を行わずに
CDオーディオ画面を閉じます。

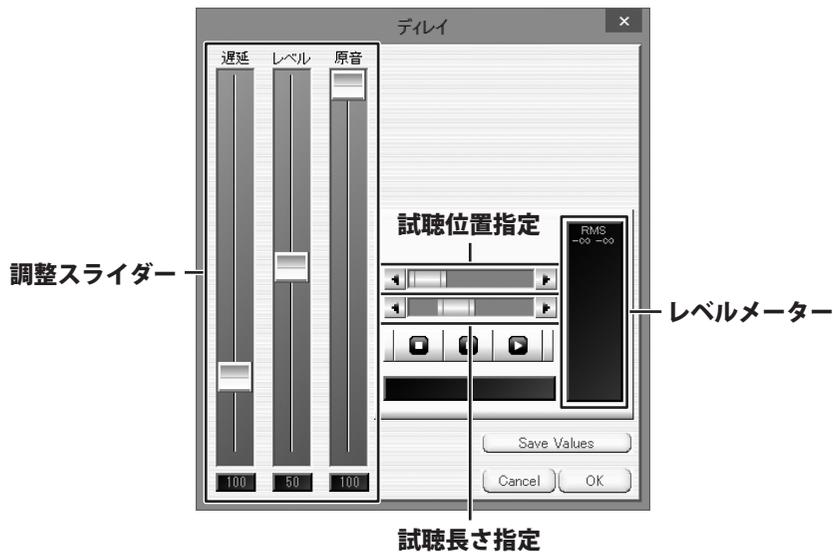
Check Rip

リッピング（取り込み）時、
正しく取り込めているか確認を行います。

Start

設定した内容で、リッピング（取り込み）を行います。

エフェクト画面（一例）

**調整スライダー**

つまみをドラッグして、エフェクトをかける各効果の強さを設定します。

試験長さ指定

つまみをドラッグして、試験を行う音楽（音声）の長さを設定します。



再生を停止します。



音楽（音声）にエフェクトを適用して、再生します。

レベルメーター

再生中の音楽の音量を表示します。

Cancel

エフェクトを適用せずに、エフェクト画面を閉じます。

試験位置指定

つまみをドラッグして、試験を行う位置を時間で設定します。



再生を一時停止します。

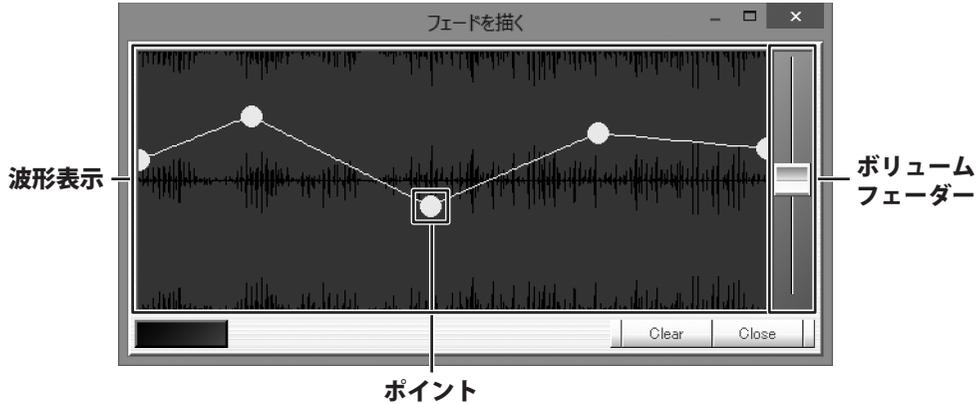
Save Value

現在の設定を保存します。

OK

エフェクトを適用して、エフェクト画面を閉じます。

フェードを描く画面



波形表示

フェードをかける範囲の音声の波形を表示します。
画面をクリックするとポイントが追加されます。

ボリュームフェーダー

つまみをドラッグすると、フェードの線を
維持したままフェードのレベルを調整します。

Close

フェードを適用して、フェードを描く画面を閉じます。

ポイント

ドラッグしてフェードのレベルを調整します。
右クリックするとポイントが削除されます。

Clear

選択範囲のポイントを削除します。

波形編集画面



メニューバー



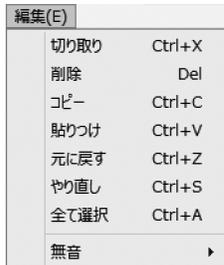
再生メニュー

範囲内

チェックを入れると、波形編集画面で選択した範囲内を再生します。

全て

チェックを入れると、波形編集画面の全ての範囲を再生します。



編集メニュー

切り取り

選択されている部分の音楽（音声）を切り取ります。選択していた部分は詰められます。

削除

選択されている部分の音楽（音声）を削除します。選択していた部分は詰められます。

コピー

選択されている部分の音楽（音声）をコピーします。

貼り付け

切り取り、コピーした音楽（音声）を選択範囲に貼り付けします。

元に戻す

処理をさかのぼって元に戻します。波形編集画面を表示した時まで遡ることができます。

編集(E)	
切り取り	Ctrl+X
削除	Del
コピー	Ctrl+C
貼り付け	Ctrl+V
元に戻す	Ctrl+Z
やり直し	Ctrl+S
全て選択	Ctrl+A
無音	▶

編集メニュー

やり直し

元に戻す処理を取り消します。

全て選択

波形編集画面に取り込まれている音楽（音声）を全て選択します。

無音

L and R

選択範囲内の左右両方のチャンネルの音量をゼロにします。

L

選択範囲内の左チャンネルの音量をゼロにします。

R

選択範囲内の右チャンネルの音量をゼロにします。

波形表示

編集を行う音楽（音声）の波形を表示します。

先頭

波形表示画面の左端の時間を表示します。

終了

選択範囲の終点の時間を表示します。
クリックすると、選択範囲の終点が波形表示の中心に表示されます。



波形表示に表示する範囲を縮小します。



再生を停止します。



試聴を開始します。

OK

設定を適用して、波形編集画面を閉じます。

全体

編集を行う音楽（音声）の全体の長さを時間で表示します。

開始

選択範囲の始点の時間を表示します。
クリックすると、選択範囲の始点が波形表示の中心に表示されます。

選択

選択範囲の時間を表示します。
クリックすると、選択範囲が波形表示の中心に表示されます。



波形表示に表示する範囲を拡大します。



再生を一時停止します。

Cancel

変更を適用せずに、波形編集画面を閉じます。

録音設定画面



レベルメーター

録音中の音量を表示します。
クリックすると、対数表示とリニア表示を切り替えることができます。

自動録音/Start

チェックを入れると、設定された音量以上の音声が入力されると自動的に録音を開始します。

Stop

録音を終了して録音設定画面を閉じます。

録音音量調整

つまみをドラッグして、録音を行う音量を調整します。

自動録音/Stop

チェックを入れると、設定された音量以下の音声設定された時間続くと自動的に録音を終了します。

Start

録音を開始します。

設定画面



一般タブ

サンプリング周波数

▼をクリックして、起動時のサンプリング周波数を設定します。

右側には現在のサンプリング周波数が表示されます。

最小編集単位

メイン画面内の作業エリアの1ピクセルあたりのサンプル数を設定します。

右側には現在の最小編集単位が表示されます。

データフォルダ

... ボタンをクリックして、一時ファイルやプロジェクトファイルを作成するフォルダを設定します。

ヘッドルーム

ピーク波形表示の上限值を設定します。

また、上限値に伴って各トラックのレベル表示の赤色になる値が変更されます。

録音同時再生同期

録音トラックのうち1つに再生が同期します。再生音声は途切れがちになります。

終了時にデータフォルダ整理

データフォルダにあるプロジェクトファイルが使用していない一時ファイルを本ソフト終了時に削除します。

wpr削除

設定した日数を過ぎた古いプロジェクトファイルを自動的にデータフォルダから削除します。

0を設定すると削除されません。

フェードテーブル

▼をクリックして、音量を調整するボリュームの表示を設定します。

センターゼロ

基準値の0dbを中心に表示します。

一般フェーダー

基準値の0dbが中心よりやや上に表示されます。

ミキサー

... ボタンをクリックして、

 ボタンを押したときに起動するアプリケーションを設定します。設定がない場合は、パソコンの音量ミキサー画面を表示します。

Cancel (全タブ共通)

設定を保存しないで設定画面を閉じます。

OK (全タブ共通)

設定を保存して設定画面を閉じます。



詳細タブ

表示サイズ

メイン画面のフェーダーやボタンのサイズを設定します。基本サイズ1.0に対する倍率を0.7~3.0の間で設定します。

メーターレベル

各メーターの赤くなる位置を設定します。

波形色

波形の描画色を設定します。色のボックスをクリックすると、色選択画面が表示されます。

ロック色

ロックされた波形の描画色を設定します。色のボックスをクリックすると、色選択画面が表示されます。

マーカーを細く

チェックを入れると、マーカーの表示を細くします。

波形をモノラル描画

チェックを入れると、表示のみモノラルに切り替えます。

波形をピーク値で描画 (高負荷)

チェックを入れると、ピーク描画を正確に描画します。パソコンによっては処理が遅くなります。

波形をdB値で抽出

チェックを入れると、dB値で波形を作成します。dB値にすると小さい音量の部分も大きめに表示されますが、全体的に音量の大きいCD音源などの場合は大小がわかりにくくなります。

録音中に波形を描画 (高負荷)

チェックを入れると、録音中も波形を描画します。パソコンによっては処理が遅くなります。

画面をスクロール (高負荷)

チェックを入れると、通常再生時に再生ヘッドが画面端を過ぎたら、画面をスクロールします。

マスターメーター表示

チェックを入れると、マスター音量のメーターを表示します。メーターを右クリックすることで、RMS/Peakの切り替えができます。

針メーター表示

チェックを入れると、マスターメーターを針のVU計で表示します。

録音モニターを表示 (高負荷)

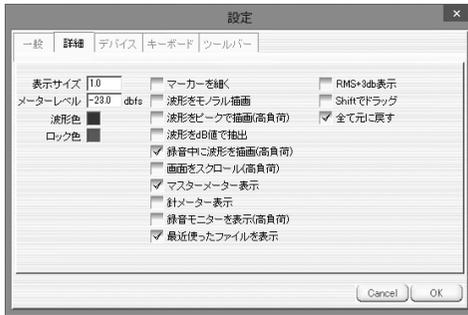
チェックを入れると、 ボタンを押したときに録音設定画面を表示します。

詳細は22ページをご覧ください。

最近使ったファイルを表示

チェックを入れると、使用したプロジェクトファイル、音楽 (音声) ファイルをメニューに表示します。

画面・各部の説明



詳細タブ

RMS+3db表示

チェックを入れると、マスターメーター、エフェクトのノーマライズ、wavファイル作成のノーマライズ(RMSオン時)、録音モニターメーターのRMS値を3dbシフトします。

これは正弦波の場合にピーク値とRMS値を同一にする設定です。

Shiftでドラッグ

チェックを入れると、トラックの下半分で操作をした場合にブロックをドラッグします。

チェックを外すと、Shiftを押しながら操作するとブロックをドラッグ、押さないときは再生ヘッドをドラッグします。

全て元に戻す

チェックを入れると、「元に戻す」を実行したときに、マークや再生ヘッドなどの情報も元に戻します。



デバイスタブ

出力デバイス

▼をクリックして、音楽（音声）を出力する時に使用するスピーカーなどの機器を設定します。

再生トリム

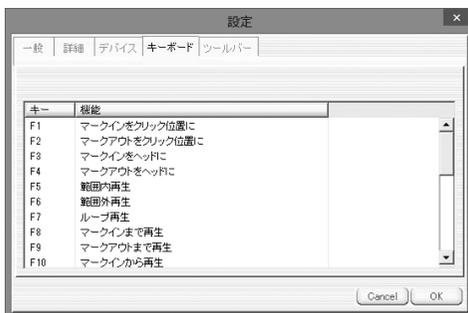
入力欄に入力した数値で再生の音量の微調整を行います。作成するWAVファイルの音量は調整しません

入力デバイス

▼をクリックして、録音に使用するマイクなどの機器を設定します。

録音トリム

入力欄に入力した数値で録音時の音量の微調整を行います。



キーボードタブ

キー

動作を設定するキーをスペースキー、F1～12キーから選択します。

機能

キーを押した時の動作を設定します。



ツールバータブ

ツールバー表示

チェックを入れると、メイン画面にツールバーを表示します。

追加

ツールバーに表示するボタンを追加します。

削除

選択したボタンを削除します。



選択したボタンを下に移動します。

設定画面で下に表示されているボタンは、メイン画面では右側に表示されます。



選択したボタンを上移動します。

設定画面で上に表示されているボタンは、メイン画面では左側に表示されます。

ボタン

ボタンの番号を表示します。

機能

ボタンを押した時の機能を設定します。

音楽変換ツール メイン画面



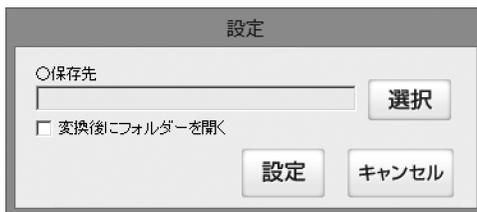
パソコンに保存されている音楽（音声）ファイルから変換するファイルを選択します。



変換リストに追加したファイルをリストから削除します。



変換したファイルの保存先を設定します。

**保存先**

選択 ボタンをクリックして、変換したファイルの保存先を設定します。

変換後にフォルダーを開く

チェックを入れると、変換終了後に保存先を開きます。

設定

設定した内容を保存して、設定画面を閉じます。

キャンセル

設定した内容を保存せずに、設定画面を閉じます。

変換リスト

変換するファイルの一覧が表示されます。

画面・各部の説明



MP3、M4A、AACの音楽（音声）ファイルを
WAVEファイルに変換します。



変換を中止します。

インストール・起動について

Q：ソフトのインストールや起動ができません

A：本ソフトをインストールする際、ウィルス対策などの常駐ソフトや他のアプリケーションが起動していませんか？

必ず、すべて終了してからインストール作業を行ってください。

また、HDD(ハードディスクドライブ)の空き容量が極端に少ない状態、Windowsのシステムが不安定になってますと、インストール作業を行うことや本ソフトが正常に起動することができない場合もあります。お使いのパソコンのWindows OSは、Windows Update等で常に最新の状態を保ってください。

Q：インストールしようとすると『…にアクセスする権限がありません。

インストールを継続できません。』といったメッセージ(Windows XP)や次のような画面(Windows Vista、Windows 7、Windows 8)が表示されてインストールができません

例：Windows 8



A：管理者権限を持っていないユーザーアカウントでパソコンを起動していませんか？

本ソフトをご利用の際には予め管理者権限を持ったユーザーアカウントでパソコンを起動してからインストール作業を行ってください。

Q：完全アンインストールの手順は？

A：以下の手順で削除できます。

1. 冊子の取扱説明書6ページのアンインストール方法で「かんたん波形編集」のアンインストールを行います。
2. [Windows 8の場合]
 スタート画面→デスクトップ→キーボードのWindowsキーを押した状態で「Eキー」を押す→Cドライブ(本ソフトがインストールされているドライブになります)→De-Net→khakeiフォルダーを削除します。
 [Windows Vista / Windows 7の場合]
 コンピューター (※) →Cドライブ(本ソフトがインストールされているドライブになります)→De-Net→khakeiフォルダーを削除します。
 ※Windows Vistaの場合は「コンピュータ」
 [Windows XPの場合]
 マイコンピュータ→Cドライブ(本ソフトがインストールされているドライブになります)→De-Net→khakeiフォルダーを削除します。

操作について

Q：対応している形式は何ですか？

A：読込で対応している形式はWAV / MP1 / MP2 / MP3 / WMA / AIFF / MPEG1(音声部) / WMV(音声部)
出力で対応している形式はWAV / MP3です。

本ソフトで読み込むことのできない MP3 / M4A / AAC ファイルは、
音楽変換ツールを使ってWAVファイルに変換することで本ソフトで読み込むことができます。

Q：MIDIファイルに対応していますか？

A：MIDIファイルには対応しておりません。

Q：CDDBには対応していますか？

A：CDDBには対応しておりません。

**Q：CDから取り込んだ音楽（音声）ファイルの種類がWMAです
WAVもしくはMP3への変換方法を教えてください**

A：CDの場合はCDオーディオから読み込むことができます。

Q：MP3ファイルが読み込めません

A：MP3ファイルによっては本ソフトで読み込めない場合があります。
その場合は付属の音楽変換ツールでWAVに変換して読み込んでください。

Q：読み込み及び出力可能な音楽（音声）ファイルのサイズ制限や時間制限はありますか？

A：非圧縮の状態(wav)で4GBが上限になっています。圧縮ファイルの読み書きについては上限は未確認です。
ソフト上の仕様としては特に上限は設けておりません。

Q：数字や文字が入力できません、入力しているのに登録されません

A：次の内容をご確認ください。

- ・入力する欄でカーソルが点滅しているか(例:名前を入力する場合は、名前欄の枠の中でカーソルが点滅)
- ・キーボードの設定(NumLockキーのオン/オフ等)
- ・入力した文字が確定された状態であるか(文字を入力したら、ENTERキーを押して確定してください)
- ・日付や数字を入力する際、半角で入力しているか
- ・漢字やひらがなを入力する際、全角で入力しているか

Q：複数のシステムの録音や再生を行ったら単一デバイスとして表示されてしまいます

A：複数のステレオデバイスとして列挙されるオーディオIFが必要になります。

その他

Q：複数のパソコンで使用できますか？

A：本ソフトは1台のパソコンにインストール可能です。
複数のパソコンでご利用の場合は台数分のソフトをご用意ください。

Q：「かんたん波形編集」は、他のパソコンとの共有やネットワーク上で使用できますか？

A：本ソフトは、インストールを行ったパソコン上で操作してください。
ネットワーク経由等でご利用いただくことはできません。

Q：画面の端が切れて表示される

A：画面解像度を推奨サイズ以上に変更してください。

確認方法

[Windows 8]

1. デスクトップの何も無い所で右クリック→画面の解像度をクリックします。
 2. 画面の解像度を1024×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。
- ※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

[Windows 7]

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「画面の解像度の調整」をクリックします。
 3. 画面の解像度を1024×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。
- ※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

[Windows Vista]

1. デスクトップの何も無い所で右クリック→個人設定をクリックします。
 2. 個人設定ウィンドウ内の、画面の設定を左クリックします。
 3. 画面の解像度を1024×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。
- ※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

[Windows XP]

1. デスクトップの何も無い所で右クリック→プロパティをクリックします。
 2. [設定]タブをクリックします。
 3. 画面の解像度を1024×768以上に設定し「適用」→「OK」をクリックで設定完了です。
- ※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

Q：ボタンや文字などがずれていたり、画面の表示がおかしい

A：お使いのパソコン画面の設定をご確認ください。

確認方法

[Windows 8]

1. マウスポインタを右下の角に移動し、設定ボタンをクリックします。
2. 右側に設定画面が表示されましたら「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「テキストやその他の項目の大きさを変更します」をクリックします。
4. 小-100%(規定)にチェックを入れ「適用」をクリックします。
5. 「これらの変更を適用するには、コンピューターからサインアウトする必要があります。」と確認を求められますので、「今すぐサインアウト」をクリックします。
6. パソコンからサインアウトされますので、再度サインインすると設定完了です。

[Windows 7]

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「テキストやその他の項目の大きさを変更します」をクリックします。
3. 小-100%(規定)にチェックを入れ「適用」をクリックします。
4. 「これらの変更を適用するには、コンピューターからログオフする必要があります。」と確認を求められますので、「今すぐログオフ」をクリックします。
5. パソコンからログオフされますので、再度ログインすると設定完了です。

[Windows Vista]

1. デスクトップの何も無い所で右クリック→個人設定を右クリックします。
2. フォントサイズ (DPI) の調整をクリックします。
3. 「あなたの許可が必要です」と許可を求められますので「続行」をクリックします。
既定のスケール (96DPI) にチェックを付け、「OK」をクリックします。
4. パソコンを再起動した後、本ソフトを起動させて画面表示をご確認ください。

[Windows XP]

1. デスクトップの何も無い所で右クリック→プロパティをクリックします。
2. 「設定」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリックします。
3. DPI設定を「通常サイズ(96DPI)」を選択して「適用」→「OK」をクリックします。
4. パソコンを再起動した後、本ソフトを起動させて画面表示をご確認ください。

Q：「2012 **」は日付ではありません…というエラーメッセージが表示されたり、文字化けなど日本語が正しく表示されない**

A：Windowsの言語や日付形式の設定が標準のもの以外になっているとアプリケーションソフトが正常に動作(表示等)がされない場合があります。

以下の手順で設定をご確認の上、標準の設定にて本ソフトをご使用ください。

確認方法

[Windows 8]

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. マウスポインタを右下の角に移動し、設定ボタンをクリックします。
3. 右側に設定画面が表示されましたら「コントロールパネル」をクリックします。
4. 「時計、言語および地域」→「地域」をクリックします。
5. 言語が「日本語」に設定されていることを確認後、「形式」タブを選択して「追加の設定」をクリックします。
6. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。

「データ形式」	短い形式(S)	yyyy/MM/dd
	長い形式(L)	yyyy'年'M'月'd'日'

 「カレンダー」 西暦(日本語)
7. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

[Windows 7]

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語」をクリックします。
4. 「形式」タブを選択して、「Japanese(Japan)」に設定されていることを確認後、「追加の設定」をクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。

「データ形式」	短い形式(S)	yyyy/MM/dd
	長い形式(L)	yyyy'年'M'月'd'日'

 「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

[Windows Vista]

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語のオプション」をクリックします。
4. 「形式」タブを選択して、「日本語」に設定されていることを確認後、「この形式のカスタマイズ」をクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。

「データ形式」	短い形式(S)	yyyy/MM/dd
	長い形式(L)	yyyy'年'M'月'd'日'

 「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

[Windows XP]

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「日付・時刻・地域と言語のオプション」→「地域と言語のオプション」をクリックします。
4. 「地域オプション」タブを選択して、「日本語」に設定されていることを確認後、「カスタマイズ」をクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「カレンダーの種類」 西暦（日本語）
「短い形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
区切り記号 /
「長い形式」 長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

DPI設定や解像度、日付(時刻)などにつきましては、Windows OSでの設定となるため、詳細についてはMicrosoft社へお尋ねください。

また、その他のソフト、パソコン本体、その他の周辺機器につきましても各メーカー様へお尋ねください。弊社では「かんたん波形編集」以外に関する詳細につきましては一切の責任を負いかねます。

ユーザーサポート

お問い合わせについて

FAX及びe-mailでのお問い合わせの際には、『ご連絡先を正確に明記』の上、サポートまでお送りくださいますよう
よろしく願い申し上げます。

お客様よりいただいたお問い合わせに返信できないことがあります。

問い合わせを行っているのにも関わらず、サポートからの返事がない場合、弊社ユーザーサポートまでご連絡が届いていない状態や、返信先が不明(正しくない)場合が考えられますので、宛先(FAX・メール)の確認をお願いいたします。

弊社ホームページ上からサポート宛にメールを送ることも可能です。

[弊社ホームページ]
<http://www.de-net.com/>

[問い合わせページ]
<http://www.de-net.com/contact/>

株式会社デネット パソコンソフト製品サイト
www.de-net.com/ - キヤッシュ
株式会社デネット パソコンソフト製品サイト。製品情報、アップデート、サポートなどを
「株式会社デネット パソコンソフト製品サイト」
をクリック!

検索エンジンより
「デネット」で検索!

株式会社デネット パソコンソフト製品サイト
www.de-net.com/ - キヤッシュ
株式会社デネット パソコンソフト製品サイト。製品情報、アップデート、サポートなどを案内
しています。

電子書籍作成ソフト ユーザー登録
動画ダウンロード・動画編集ソフト、ビジ ャルソフト、電子書籍作成ソフト... 株式会社デネット製品をご購入いた
だき、ありがとうございます。ユーザー...
ソフトウェアダウンロード ソフトウェアダウンロードサービス、株式
会社デネット製品をご購入いた
だき、ありがとうございます。

直接メール・FAX・お電話等でご連絡の場合、下記項目を事前にご確認の上お伝えください。

- ソフトのタイトル・バージョン
例：「かんたん波形編集」
- ソフトのシリアルナンバー
※冊子の取扱説明書表紙に貼付されています。
- ソフトをお使いになられているパソコンの環境
 - ・OS及びバージョン
例：Windows 7、Service Pack 2、64bit
Windows Updateでの最終更新日〇〇年〇月〇日
 - ・ブラウザのバージョン
例：Internet Explorer 8
 - ・パソコンの仕様
例：NEC XXXX-XXX-XX / Pentium III 1GHz /
HDD 500GB / Memory 2GB
- お問い合わせ内容
例：～の操作を行ったら、～というメッセージがでて
ソフトが動かなくなった
□□□部分の操作について教えてほしい…etc
- お名前
- ご連絡先(正確にお願いいたします)
メールアドレス等送る前に再確認をお願いいたします。

※お客様のメールサーバーのドメイン拒否設定により、
弊社からのメールが受信されない場合があります。

無料ユーザーサポート

E-mail: ask99pc@de-net.com

Tel: 048-640-1002

Fax: 048-640-1011

サポート時間：10:00～17:30 (土・日、祭日を除く)

※通信料はお客様負担となります。
※パソコン本体の操作方法やその他専門
知識に関するお問い合わせにはお答え
できない場合があります。
※お客様のご都合による返品はできません。
※お問い合わせ内容によっては返答までに
お時間をいただくこともあります。